

平成24年度ホタテガイ採苗情報（第7報）

平成24年6月15日

発行：岩手県水産技術センター

協力機関：沿海振興局水産部・水産振興センター
関係漁業協同組合



稚貝の付着は継続も付着数は減少

< 調査結果の概要 >

- ラーバの出現数は、県北部は減少、唐丹湾は横ばいでした。
- 唐丹湾の200 μ 以上の大型個体の比率は46%と前回より低下。
- 試験採苗器の付着稚貝数は227~974個/袋でした。
- 唐丹湾では、付着は継続しているものの、前回（713個/袋）よりも大幅に減少し、そのうち3%が付着直後の稚貝でした。
- 唐丹湾の水深10m層の水温は12.4℃と、平年並みとなっています。透明度は14m（前回9m）でした。

< 陸奥湾の状況（6月14日発行青森県採苗速報） >

- ラーバの出現数は全湾平均で616個/m³と、前回とほぼ同じ。
- 試験採苗器の付着稚貝数は172~12,928個/袋（6~7日間）でした。

< 宮城県の状況（6月13日発行気仙沼水産試験場速報） >

- 試験採苗器の付着稚貝数は56~1,660個/袋（8~10日間）でした。
- 北部地区の付着稚貝数は減少しているものの継続、中部地区は増加。

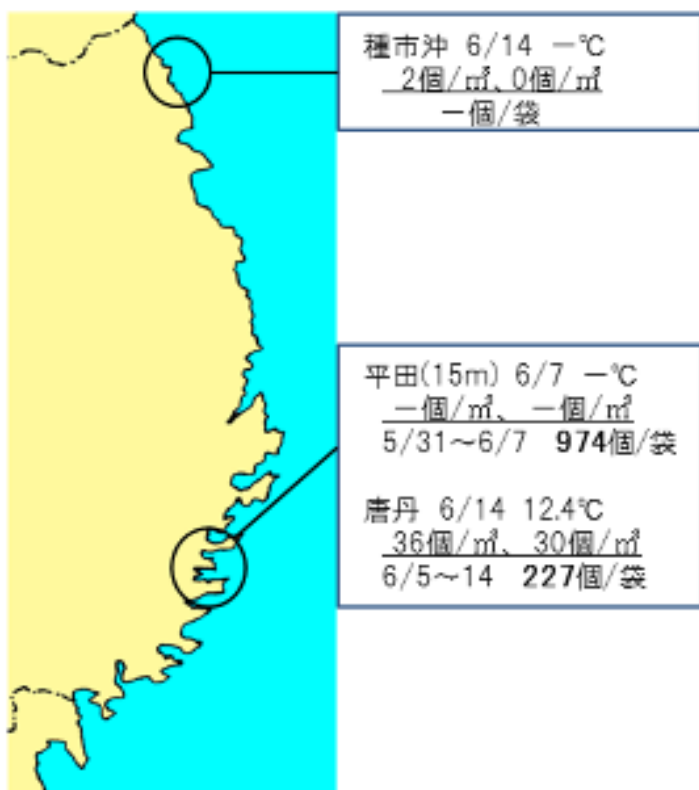


図1 各定点の調査結果

調査点 調査日 10m層水温
ラーバ出現数(200 μ 未満, 200 μ 以上)
試験採苗器垂下期間 付着稚貝数

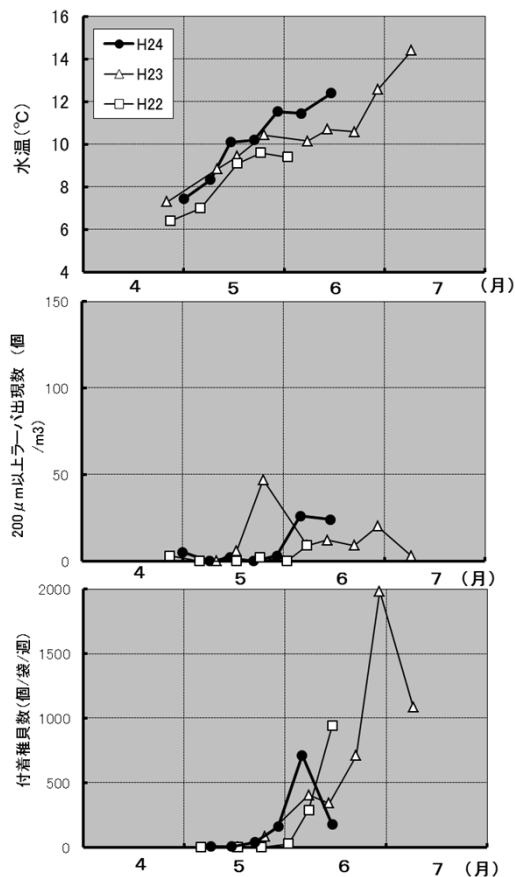


図2 唐丹湾における水深10m層
水温和ラーバ・付着稚貝の出現状況
次報は、6月20日に発行する予定です。